

立川高校定時制の廃校に反対する会 河合美喜夫

「私は私立高校を1年で退学しフリーターをしてきましたが、立定に入って高専生活をやりました。昼間はバイトして、夜学校に行きました。定時制のいいところは、仕事と学校が両方できることです。途中で何度かやめたいと思いましたが、4年間ちゃんと通えたことが今の自分の力になっていきます。自分の人

生を軌道修正することができました。立定には外国人の方もいました。年齢が少し上の人や80代の方も一緒に学んでいました。夜間定時制を必要としている人はたくさんいるのではないのでしょうか」



立川高校定時制夜景

昨年9月3日の学習会「夜間定時制ってどんなところ？」に参加された立川高校定時制卒業生の女性

「夜間定時制を必要としている人はたくさんいます」

が、こう話しました。そのおおよそ1カ月半後、10月26日の教育委員会は立川高校閉課程(廃校)を決定しました。

「募集停止にするのは忍びないが、苦渋の判断である」と発言するだけでした。募集停止となれば、在校生が卒業すると廃校になります。教育委員の皆さん、都

教委の皆さんは、この立定の卒業生に向かって「忍びないが、苦渋の判断である」と言えますか。

理由がわからないまま閉課程(廃校)を決定

2015年11月、立川高校、小山台高校、雪谷高校、江北高校の4校の夜間定時制を閉課程にする計画案が突如公表されました。すぐに計画案の撤回を求める署名が始まり、2万筆を超えました。映画監督の山田洋次さんら1000人を超える有識者が存続を求めるアピ

ルを発表しました。東京弁護士会、関東弁護士連合会も声明を出しました。しかし、2016年2月の教育委員会は4校の定時制の閉課程(廃校)を決定しました。

私たちは諦めませんでした。なぜ4校の夜間定時制を廃校にするのか、その理由が全くわからなかったからです。都教委が閉課程の理由としてあげたのは、次の四つでした。①夜間定時制の応募倍率は低下し、勤

労青少年が減少している②夜間定時制の代替としてチャレンジスクールや昼夜間定時制高校がある③全日制と定時制の併置校には施設を使用する上で制約がある④廃校にしても周辺の夜間定時制で受け入れることが可能である。

いずれも理不尽な理由で「勤労青少年」の中にはアルバイトやパートなど非正規労働者が入っています。②の夜間定時制とチャレンジスクール・昼夜間定時制は入試制度も含め学校

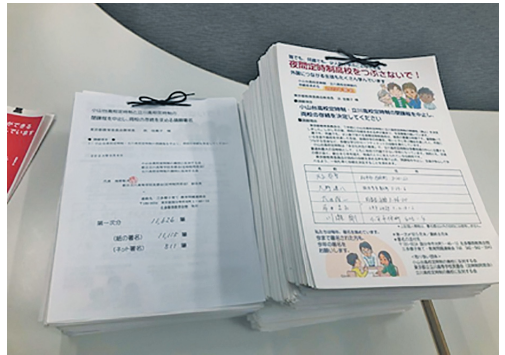
の制度が異なっています。③の全日制と定時制の併置校は長年大きな問題もなく施設を互いに利用しています。多少の不便を理由に定時制をつぶすのは暴論です。④は、駅の近くにあり通学に便利な学校を廃校にして、遠くにある定時制に通えと言っているのでしょうか。

そして、私たちが最も納得できなかったのは、数十校ある夜間定時制の中で、なぜこの4校なのか、ということでした。私たちは、その選定経緯が分かる文書の開示請求を行いました。開示されたのは黒塗りが、肝心の選定

資料ばかりで、150人もの生徒が学ぶ夜間定時制をつぶしていいのか



立川駅頭での署名の取り組み =2023年9月16日



昨年都教委に提出した約1万2000筆の署名

なりました。

立川高校定時制の昨年の入学者は前の年より13人多い37人でした。閉課程が決定してから7年経っても37人が入学しています。ちなみに一昨年は24人が入学しましたが、その後転入して入学者は39人になりました。現在、1学年2学級編成でおおよそ1500人の生徒が学んでいます。都内の夜間定時制の普通科では最大規模の学校です。都教委は「夜間定時制の応募者は少なくなくなった」と言っていますが、立川高校定時制は今も人気校です。

また、都教委は不登校生徒の増大などに対応するために、来年度に立川地区チャレンジスクールを開校し、同じく来年度に昼夜間定時制の砂川高校3部を1学級増にする予定を発表しました。これに併せて立川高校定時制の生徒募集の停止をする計画です。しかし、チャレンジスクールは不登校経験のある生徒などが学ぶ学校です。昼夜間定時制の砂川高校3部の授業開始は14時25分です。3部制高校は3年間で卒業することを通常のコースとしているからです。これどうして立川高校定時制の受け皿になるといえるのでしょうか。

都教委は2025年度の生徒募集停止を予告しましたが、「予告」であって正式決定ではありません。私たちは定時制の芙蓉会(同窓会)の方々とともに、予告の撤回を求めて1月から署名をスタートしました。こんなにも多くの人が学んでいる立川高校定時制を、不明瞭かつ理不尽な理由でつぶしてはなりません。